

日々の田高（3年生 主権者教育「模擬選挙」）

4月12日 3年生を対象として、大田区選挙管理委員会事務局の協力のもと、主権者教育「模擬選挙」を実施いたしました。

選挙管理委員会事務局の職員の方からは、年代ごとの投票率のデータから、若者が投票に行く意味を考えることや、高校生世代と選挙にかかる活動のルールに関するクイズを交えた投げかけがありました。

その後、模擬投票に向けた、政見放送を視聴した後、政見放送の内容について周囲で意見交換をして、模擬投票に移りました。

審事委員の生徒が、投票用紙の交付など役割を行い、実際の備品を使用した投票を体験しました。政見放送を聞き、周囲の人と話をした後の投票と事前にアンケートとして投票した結果の違いを感じ、社会のあり方について対話をする大切さを感じる機会となりました。

同時に、生徒たちは四人グループになり、若者の投票率を上げるアイデアについて、話し合いをしてまとめてもらいました。

今回の取り組みで、社会の課題を自分ごととして捉え、どのように自分が関わるのか、考え行動するきっかけとしてほしいです。



選挙管理委員会事務局の説明



政見放送を視聴した後、
選挙公報を見ながら周囲の人が集まり、それぞれの候補者について、話し合いました。